

被表彰団体および個人

環境大臣賞受賞者

団体部門：スターウォッチングクラブ北斗（長野県）

全国星空継続観察への参加をはじめ、光害や大気環境保全についての啓発・普及に努めてきた。特に、市民からの観望会の依頼には必ず対応し、小学校や地区公民館等を対象とした観望会を24年間に延べ676回も開催してきた。また、星空観測教室に講師として無報酬で参加するなど、すべてボランティアとして多角的な活動を行ない、地域の大気環境保全への意識向上に寄与している。

個人部門：船田 工氏（大分県）

長年にわたり、数多くの地域主催の天体観望会において指導を行い、天体観察を通じて光害問題や大気汚染防止等を訴えかけ、環境教育活動を実施している。昭和62年からは全国星空継続観察に継続して参加している。この他にも星空や天体の魅力について講演を行い、市民に大気環境保全の大切さを呼びかけている。地域の大気環境保全に長年にわたり貢献し、指導的役割を果たしている。

「星空の街・あおぞらの街」全国協議会会長賞受賞者

団体部門：室根山星空の会（岩手県）

昭和62年設立以来、19年間にわたり全国星空継続観察に継続して参加している。さらに夏休み期間中には、キャンプをしながら自然に親しみ、環境と宇宙の理解を深める「星まつり」のイベントを開催し、大気環境保全を通じた子どもたちの環境教育や地域おこしの推進に貢献している。また、CO2の削減や光害を考慮したライフスタイルを展開しており、大気環境保全の為の実践を行っている。

個人部門：松本 幸久氏（岐阜県）

長年にわたり工夫をこらした環境保全啓蒙活動を展開。勤務するプラネタリウム・天文台では担当職員として、多くの市民に星空観察を指導してきた。また、業務の枠を超えて、新聞や雑誌等のメディアを通して環境保全を訴えるなど、地球環境全般の保全に関するメッセージを地域に発信し続けている。大気環境保全活動のみならず、ナショナルトラスト運動など、各種の自然保護活動も幅広く行っている。